

表 エネルギー安全保障戦略の概要

項目	概要
原子力	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年までに最大8基の原子炉を新設する。</li> <li>2050年までに現在の3倍となる最大24ギガワット（GW）を導入し、電力需要の最大約25%を賄う。</li> <li>小型モジュール炉（SMR）が主要な役割。SMRと先進的モジュール炉については他国とも連携。</li> <li>新たな政府機関Great British Nuclear を設立し、将来の原子力技術に向け、4月に1億2,000万ポンドの基金を立ち上げる。</li> </ul>
洋上風力	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年までに洋上風力を最大50GW導入（うち浮体式は最大5GW）へ目標を引き上げ。</li> <li>直近の再エネ支援スキームの差額決済契約（CfD）制度の対象に洋上風力を含め、今後も含める。</li> <li>新たな洋上風力発電の承認期間を4年から1年に短縮し、建設までの時間を大きく短縮する。</li> </ul>
陸上風力	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー料金の引き下げなどと引き換えに、新たな陸上風力の設置受け入れを支持する地域のための地域パートナーシップ構築について2022年中に協議する。</li> </ul>
太陽光	<ul style="list-style-type: none"> <li>2035年までに現在の14GWの5倍の最大70GWへ拡大を目指す。</li> <li>直近のCfD制度に太陽光を含んでおり、今後も太陽光を含める。</li> <li>住宅や商業施設の屋根に設置する太陽光発電プロジェクトのルールについて協議する。</li> </ul>
水素	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年までに水素製造能力の導入目標を10GWに倍増。</li> <li>うち少なくとも半分はグリーン水素とする。余剰の洋上風力発電を利用してコスト削減を図る。</li> </ul>
石油・ガス	<ul style="list-style-type: none"> <li>2022年秋に北海の石油とガスの新規プロジェクトのための新たなライセンス配布を計画。</li> <li>ロシアからの輸入につき、石油と石炭は2022年末までに、その後できるだけ早く液化天然ガス（LNG）の輸入を停止する。</li> <li>2030年までにガス消費量を40%以上削減する。</li> </ul>
需要	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガス需要減に資するヒートポンプ製造拡大に向け、最大3,000万ポンド相当のヒートポンプ投資促進コンペを2022年に実施する。</li> </ul>

（出所）英国政府資料を基にジェットロ作成